

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

〇〇年度 活動計算書
 ××年×月×日から××年×月×日まで

特定非営利活動法人〇〇〇〇
 (単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	×××		
賛助会員受取会費	×××		
.....	×××	×××	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	×××		
.....	×××	×××	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	×××		
.....	×××	×××	
4. 事業収益			
〇〇事業収益			×××
5. その他収益			
受取利息	×××		
雑収益	×××		
.....	×××	×××	
経常収益計			×××
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	×××		
法定福利費	×××		
退職給付費用	×××		
福利厚生費	×××		
.....	×××		
人件費計	×××		
(2) その他経費			
会議費	×××		
旅費交通費	×××		
減価償却費	×××		
支払利息	×××		
.....	×××		
その他経費計	×××		
事業費計		×××	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	×××		
給料手当	×××		
法定福利費	×××		
退職給付費用	×××		
福利厚生費	×××		
.....	×××		
人件費計	×××		
(2) その他経費			
会議費	×××		
旅費交通費	×××		
減価償却費	×××		
支払利息	×××		
.....	×××		
その他経費計	×××		
管理費計		×××	
経常費用計			×××
当期経常増減額			×××
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		×××	
.....		×××	
経常外収益計			×××
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		×××	
.....		×××	
経常外費用計			×××
当期正味財産増減額			×××
前期繰越正味財産額			×××
次期繰越正味財産額			×××

(注) 重要性が高いと判断される用途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「一般正味財産増減の部」と「指定正味財産増減の部」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

(一般正味財産増減の部)

I 経常収益

1. 受取寄附金

受取寄附金振替額 × × ×

II 経常費用

2. 事業費

援助用消耗品費 × × ×

(指定正味財産増減の部)

受取寄附金

〇〇〇

一般正味財産への振替額

△ × × ×

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

定款に「その他の事業」が掲げられている場合の活動計算書は、「その他の事業がある場合」を参照してください。

当該事業年度の自至年月日を記載

〇〇年度 活動計算書
××年×月×日から××年×月×日まで

特定非営利活動法人〇〇〇〇
(単位：円)

科目		金額	
I	経常収益		
	1. 受取会費		
	正会員受取会費	×××	
	賛助会員受取会費	×××	
	×××	×××
	2. 受取寄附金		
	受取寄附金	×××	
	×××	×××
	3. 受取助成金等		
	受取民間助成金	×××	
	×××	×××
	4. 事業収益		
	〇〇事業収益		×××
	5. その他収益		
	受取利息	×××	
	雑収益	×××	
	×××	×××
	経常収益計		×××
II	経常費用		
	1. 事業費		
	(1) 人件費		
	給料手当	×××	
	法定福利費	×××	
	退職給付費用	×××	
	福利厚生費	×××	
	×××	
	人件費計	×××	
	(2) その他経費		
	会議費	×××	
	旅費交通費	×××	
	減価償却費	×××	
	支払利息	×××	
	×××	
	その他経費計	×××	
	事業費計		×××
	2. 管理費		
	(1) 人件費		
	役員報酬	×××	
	給料手当	×××	
	法定福利費	×××	
	退職給付費用	×××	
	福利厚生費	×××	
	×××	
	人件費計	×××	
	(2) その他経費		
	会議費	×××	
	旅費交通費	×××	
	減価償却費	×××	
	支払利息	×××	
	×××	
	その他経費計	×××	
	管理費計		×××
	経常費用計		×××
	当期経常増減額		×××
III	経常外収益		
	1. 固定資産売却益	×××	
	×××	×××
	経常外収益計		×××
IV	経常外費用		
	1. 過年度損益修正損	×××	
	×××	
	経常外費用計		×××
	当期正味財産増減額		×××
	前期繰越正味財産額		×××
	次期繰越正味財産額		×××

人件費とその他経費に分けた上で、支出の形態別に内訳を記載

人件費とその他経費に分けた上で、支出の形態別に内訳を記載

前事業年度活動計算書の「次期繰越正味財産額」と金額が一致することを確認する

貸借対照表の「正味財産合計」と金額が一致することを確認する

(注) 重要性が高いと判断される用途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「一般正味財産増減の部」と「指定正味財産増減の部」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

(一般正味財産増減の部)		用途等の制約が解除されたことによる指定正味財産から一般正味財産への振替額
I 経常収益		
1. 受取寄附金		
受取寄附金振替額	×××	
II 経常費用		
2. 事業費		
援助用消耗品費	×××	
(指定正味財産増減の部)		
受取寄附金	〇〇〇	
一般正味財産への振替額	△ ×××	「受取寄附金振替額」と同額をマイナス計上